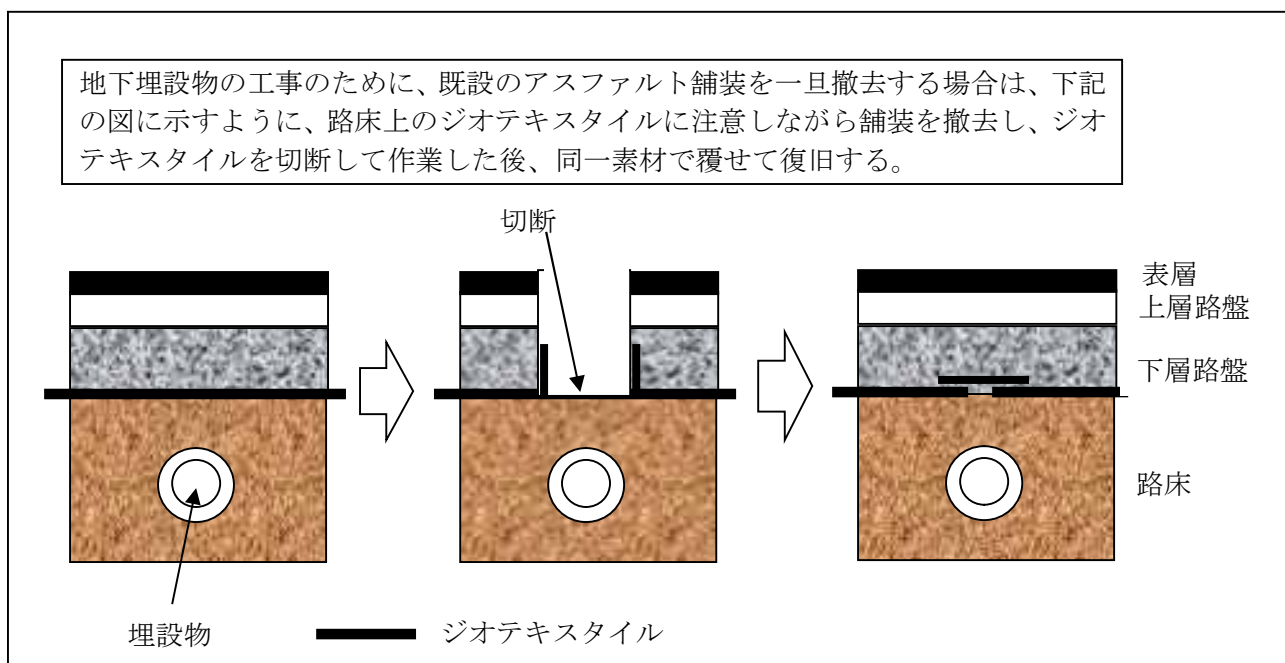


ジオテキスタイルを用いた軟弱路床上舗装の復旧について

軟弱路床については、掘削深さ（発生残土）が少なくて済むことや工期の短縮が図れることなどから、ジオテキスタイルを用いた工事が増えている一方で、整備後、占用工事などで開削した後の復旧方法について周知が徹底されておりませんでした。

そのため、復旧方法については、下記の図を参考にいただき、適切に復旧していただきますようお願いいたします。

また、市内のジオテキスタイルの施工箇所も併せて提供いたしますが、あくまで参考としていただき、実施の際には必ず現地確認をお願いいたします。



※財団法人 土木研究センター出版の「ジオテキスタイルを用いた軟弱路床上舗装の設計・施工マニュアル -路床/路盤分離材としての利用-」
6-7 地下埋設物の工事などに伴うジオテキスタイルの再敷設 参照

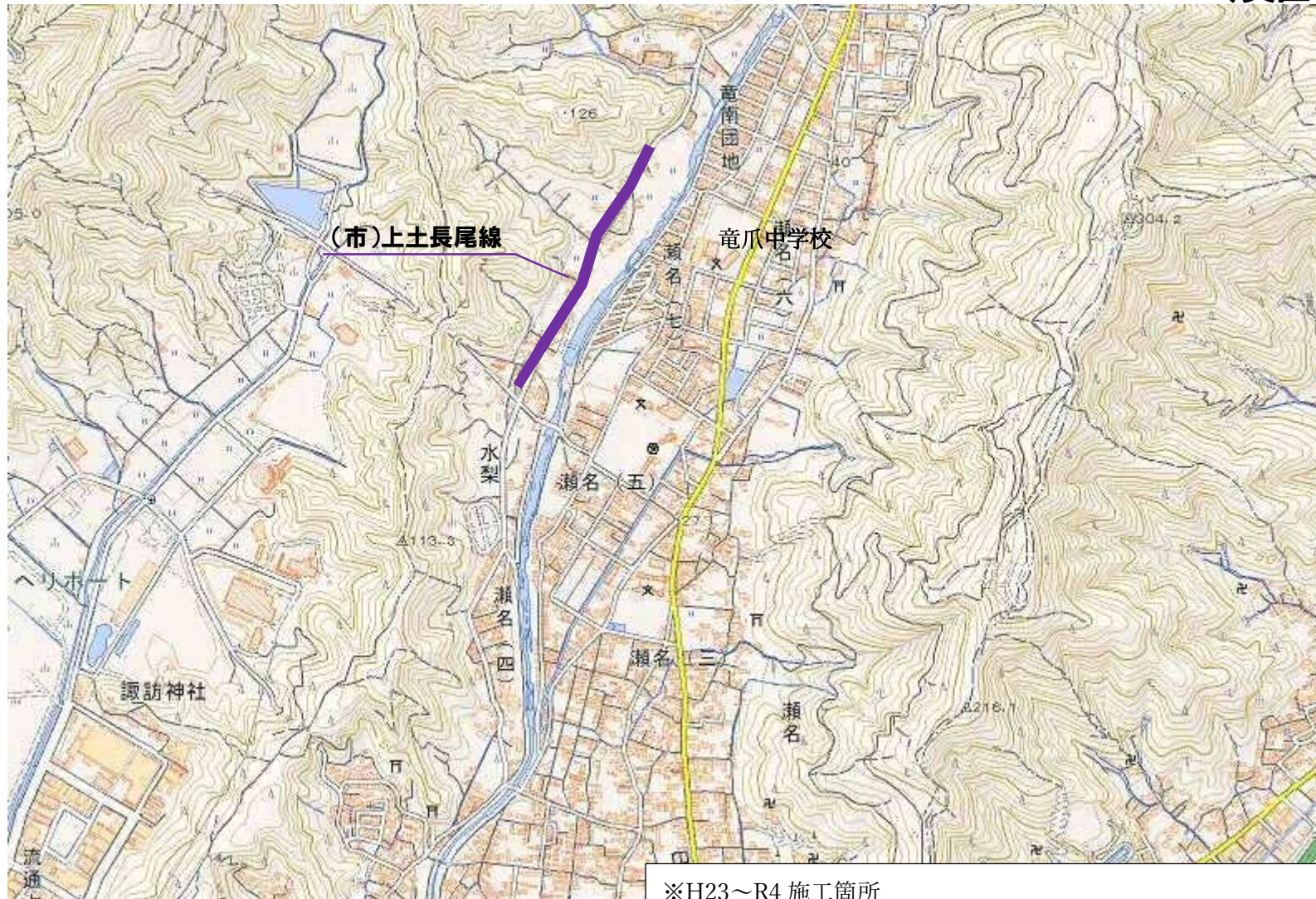
案内図

(葵区・駿河区)



案内図

(葵区)

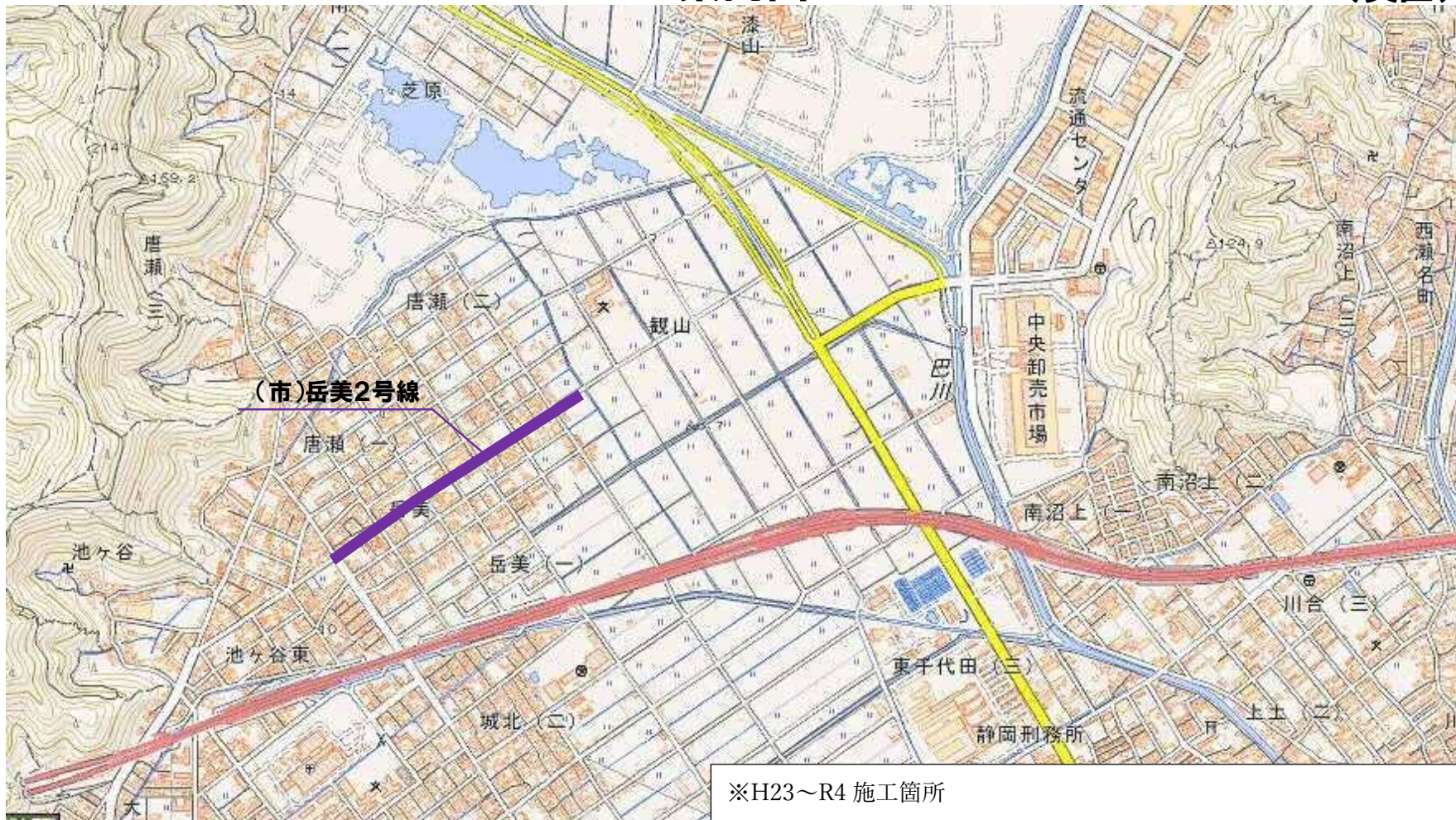


※H23～R4 施工箇所

※施工箇所は参考としていただき、実施の際は現場確認をお願いします。

案内図

(葵区)



※H23～R4 施工箇所
※施工箇所は参考としていただき、実施の際は現場確認をお願いします。

案内図

(清水区)



※H23~R4 施工箇所

※施工箇所は参考としていただき、実施の際は現場確認をお願いします。